

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表 : 2018年4月20日

事業所名 つなぐ桜支店

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		
	②	職員の配置数は適切であるか	○		
	③	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された内容になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		児童が分かりやすい用具の配置や準備・片づけ等の視覚表示等を行っている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃等の施設管理、定期的な消毒を行っており、空気清浄加湿器の設置あり。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		毎日の打ち合わせとフィードバック、次回への情報共有を毎回行っている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者の事業所評価のご意見について対応を検討し可能なものは実施する。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページで公開。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	今後外部への依頼について検討。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		月2回の内部研修会と年4回の外部研修への受講。それ以外にも必要に応じて研修会へ参加している。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか	○		6ヶ月毎に保護者と面談を行い進捗状況、目標の課題や達成度合いについて話し合いを行っている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	システム化して共通の情報共有が出来るよう作成中。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		ガイドラインに基づき実施。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		運動、学習など各プログラム毎に担当を決め品質管理責任者確認のもと行っている。

⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	年間計画を立て、毎月の課題変更や児童に応じての変更を行い支援をしている。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○	児童に合わせて実施。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	毎回実施。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	毎回実施。

	⑱	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回の記録をもとに行っている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		毎回の記録をもとに行っている。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、いその子どもの状況精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	招請があれば参加したい。
	㉒	母子保護や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	保護者からの情報を得て支援内容を作成しているが必要に応じて直接的な関わり、連携を持つことが課題。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	保護者からの情報を得て支援内容を作成しているが必要に応じて直接的な関わり、連携を持つことが課題。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	保護者からの情報を得て支援内容を作成しているが必要に応じて直接的な関わり、連携を持つことが課題。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	保育所や幼稚園に在籍している通所児童を除いては機械がない。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	招請があれば参加したい。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳、送迎時に行った課題を見ていただいたり個別相談にその都度応じている。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		希望する保護者に対し個別相談を設けおこなっている。
	保	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	
㉝		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		
㉞		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じて、必要な助言と支援を行っているか	○		希望する保護者、又は必要と感じた保護者に対し個別相談を設けおこなっている。

保護者への説明責任等	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		年2回実施
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		必要に応じて相談枠を設け実施
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や工事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対しては発信しているか	○		SNSを活用し活動内容を発信。連絡の必要のあるものじゃその都度手紙配布をしている。
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○		契約時の注意説明を含め職員へ注意喚起。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	療育プログラム以外の行事は通所児童向けに開催してい為困難。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		利用前に保護者からの聞き取りで確認している。
④④		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時に確認をし、おやつ提供をする場合は家族と相談し対応している。
④⑤		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		
④⑥		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		自治体が行う研修会の参加。
④⑦		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		契約時、重要事項説明書に基づき説明している。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。